

■ 一般目標（GIO）

第1学年で学んだ歯周療法学の基礎に基づいて、実際の臨床で応用すべき項目について理解する。項目として歯周外科治療，口腔機能回復治療，メンテナンスおよびSPTについて焦点を当て，臨床に即した内容について学ぶ。

■ 到達目標（SBOs）

- ① 歯周外科治療のうち，切除療法の目的と術式を説明できる。
- ② 歯周外科治療のうち，組織付着療法の目的と術式を説明できる。
- ③ 歯周外科治療のうち，歯周組織再生療法を目的と術式を説明できる。
- ④ 歯周外科治療のうち，歯周形成手術を目的と術式を説明できる。
- ⑤ 根分岐部病変の治療の目的と術式を説明できる。
- ⑥ 口腔機能回復治療の目的と術式を説明できる。
- ⑦ メンテナンスとSPTの目的と術式を説明できる。

■ 教科書：歯科衛生学シリーズ
歯周病学（医歯薬出版）

■ 参考書：なし

■ 授業時間：月曜日 11:00～11:50

■ オフィスアワー：酒井 嶺 (sakai.ryou@nihon-u.ac.jp)
火曜日 17:00～18:00

■ 授業の方法：スライドを使用し，適宜プリントを配布する。

■ 準備学習・ 事前に必ず教科書を読み，授業内容を理解しておくこと。
準備学習時間：各々授業時間相当を充てて予習と復習を行うこと。

■ 成績評価方法：定期試験（100%）を基本とする。

■ 注意事項：講義に必ず教科書を持参すること。

■ 実務経験：酒井 嶺：現在，日本大学歯学部歯科保存学第Ⅲ講座に在籍しており，歯周病治療を専門におこなっていることから，その経験を基に歯科医師の立場から本教科で学ぶ内容が臨床にいかに関与されているかについて学ぶ場を提供したいと考えている。

■ 予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1回 7月1日 酒井 嶺	1. 歯周外科治療（1） （教）pp. 87-114	・ 切除療法と組織付着療法の目的 および術式を理解する。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第2回 7月8日 酒井 嶺	1. 歯周外科治療（2） （教） pp. 87-114	・ 歯周組織再生療法および歯周形成手術の目的および術式を理解する。
第3回 7月22日 酒井 嶺	2. 根分岐部病変の治療 （教） pp. 115-117	・ 根分岐部病変の治療の目的および術式を理解する。
第4回 8月26日 酒井 嶺	3. 口腔機能回復治療 （教） pp. 118-127	・ 歯周治療の口腔機能回復治療を目的および術式を理解する。
第5回 9月2日 酒井 嶺	4. メインテナンス・SPT （教） pp. 128-133	・ 歯周治療のメインテナンス・SPTの目的および術式を理解する。